

令和 6 年度

病院事業局運営プログラム

評価票

令和 7 年 8 月
病院事業局

令和6年度 病院事業局施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】…第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

- (1) 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化【4-1】
 - ① 県民を守る災害対応力の充実
- (2) 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現【4-3】
 - ② 質の高い医療の提供
- (3) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】
 - ③ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

II 政策の効率的・効果的な展開の促進

- ④ 県立病院の安定的な運営基盤を実現する経営の改善

令和6年度 病院事業局 主要事業

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

(1) 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化【4-1】



取組みの成果

① 県民を守る災害対応力の充実

【令和6年度における評価と見直しの方向性】

＜行政における計画的な備蓄や災害時医療救護体制等の充実強化＞

（評価）

・新興感染症の感染拡大等に備え、各県立病院に感染管理に係る認定看護師の配置、県との医療措置協定に基づく体制や備蓄を確保したほか、有事における医療体制の確保のため、病院における災害対策マニュアル等に基づく訓練の実施、ドクターヘリの運航及び搭載医療機器の整備、令和6年7月25日からの大雨災害においては派遣医療チーム（DMAT）の編成等を実施した。

（見直しの方向性）

・令和6年7月25日からの大雨災害の対応を踏まえ、平時より備蓄や訓練の実施等により災害時の医療提供体制の充実強化を図る。

【令和6年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
安全で質の高い医療の提供	1,479,461 (1,572,254)	・河北病院全身用コンピュータ断層撮影装置（CT）を整備 ・中央病院冷却塔更新工事を実施 ・らくらくスムーズ会計サービスを導入 ・入院時連帯保証人代行制度を開始	11
新興感染症等の感染拡大時に備えた平時からの取組み	16,381 (21,837)	・感染管理認定看護師等の感染症対応専門人材を育成 ・感染症対応医療機器を整備 ・感染防護具を確保	11
計	1,495,842 (1,594,091)		

(2) 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現【4-3】



取組みの成果

② 質の高い医療の提供

【令和6年度における評価と見直しの方向性】

<医療従事者の安定的な確保>

(評価)

- ・民間主催の臨床研修医ガイダンスへの参加や、民間の求人サイト等を活用した情報発信などの取組みにより、臨床研修医マッチングにおいて、中央病院でフルマッチ（募集定員を満員16名で充足）を達成した。
- ・また、大学からの臨床実習の積極的な受入れ等により、医療従事者の確保を図った。
- ・各職種の仕事紹介や募集情報等を一元化した本局独自のリクルート総合サイトを活用し、薬剤師志望者向けのPR動画を公開するなど情報発信を強化した。

(見直しの方向性)

- ・学生等に対面でのガイダンス等による採用活動の取組みを推進するとともに、対面での参加が難しい方に向けてオンラインによる採用活動を実施する。
- ・リクルート総合サイトをさらに活用し、積極的かつ効果的な情報発信を強化する。

<適時適切な医療を提供できる体制づくり>

(評価)

- ・救急医療提供体制の確保を図るため、中央病院においては、救命救急センター及びドクターヘリ、新庄病院においては、地域救命救急センターの運営等を継続した。
- ・総合的な医療提供体制の充実を図るため、河北病院において、地域医療連携ステーションを開設し、在宅医療との連携を推進した。
- ・精神疾患に対する医療提供体制の充実のため、こころの医療センターにおいて、精神救急患者の24時間365日受入れ体制の継続したほか、発達障がい児等児童思春期の精神疾患に対する多職種による専門的治療を実施した。
- ・新興感染症の感染拡大等に備え、各県立病院に感染管理に係る認定看護師の配置、県との医療措置協定に基づく体制や備蓄を確保したほか、有事における医療体制の確保のため、病院における災害対策マニュアル等に基づく訓練を実施した。
- ・業務プロセスを見直し、病院におけるデジタル化を推進するため、県立病院統合データベースを構築した。

(見直しの方向性)

- ・各県立病院が地域の医療ニーズに応え、役割を果たすための機能強化を図る。
- ・医療の質と患者サービスの一層の向上を図るため、診療及び業務のデジタル化を推進する。
- ・新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組みを推進する。

<総合的ながん対策の推進>

(評価)

- ・中央病院において、がん・生活習慣病センター及びがん相談支援センターを、新庄病院において、がん相談支援センターを運営し、がん患者及びその家族に対する支援を実施した。

(見直しの方向性)

・がん・生活習慣病センター及びがん相談支援センターを運営するとともに、がん相談員等によるがん患者及びその家族に対する支援を引き続き実施する。

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
医療を支える人材の確保	1,288,630 (1,306,567)	・人材確保に向けたPR動画を作成、活用 ・医師事務作業補助者、看護補助者を拡充 ・臨床研修医の確保対策を実施 ・中央病院及び新庄病院院内保育所を運営等	3
安全で質の高い医療の提供(再掲)	1,479,461 (1,572,254)	・河北病院全身用コンピュータ断層撮影装置(CT)を整備 ・中央病院冷却塔更新工事を実施 ・らくらくスムーズ会計サービスを導入 ・入院時連帯保証人代行制度を開始	3
大学、地域の医療機関等との連携の推進	287,869 (287,869)	・河北病院地域医療連携ステーションを開設 ・中央病院患者サポートセンター及び新庄病院総合患者サポートセンターによる入退院等の支援を実施	3
働き方改革への対応	1,025,869 (1,039,678)	・勤務管理システムによる適切な労務管理を実施 ・県立病院統合データベース利活用システムを導入 ・医師事務作業補助者、看護補助者を拡充	3
新興感染症等の感染拡大時に備えた平時からの取組み(再掲)	16,381 (21,837)	・感染管理認定看護師等の感染症対応専門人材を育成 ・感染症対応医療機器を整備 ・感染防護具を確保	3
高度医療及び専門医療を担う人材の育成	380,951 (380,951)	・医師の学会参加、研究調査等を支援 ・認定看護師、専門看護師等を育成 ・医療技術員の専門資格の取得を促進	3
総合医療情報システムの統合による効率的運用及びデジタル化の推進	129,476 (144,320)	・総合医療情報システム更新事業の事業者を決定 ・県立病院統合データベース利活用システムを導入 ・らくらくスムーズ会計サービスを導入	3
計	4,608,637 (4,753,476)		

(3) 総合的な少子化対策の新展開【４－５】



取組みの成果

③ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

【令和６年度における評価と見直しの方向性】

＜妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実＞

（評価）

- ・ 不妊に悩む方を対象とし、新庄病院で不妊に関する治療を実施した。
- ・ 中央病院において、総合周産期母子医療センターを運営し、妊娠、出産から新生児に至るまでの高度・専門的かつ総合的な医療を推進し、周産期・救急医療提供体制の充実を図った。

（見直しの方向性）

- ・ 引き続き不妊に悩む方の支援を行うため、新庄病院で不妊に関する診療を実施する。
- ・ 周産期・救急医療提供体制の充実を図るため、引き続き中央病院における総合周産期母子医療センターを運営する。

【令和６年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGs の ゴール
安全で質の高い医療の提供（再掲）	1,479,461 (1,572,254)	・ 河北病院全身用コンピュータ断層撮影装置（ＣＴ）を整備 ・ 中央病院冷却塔更新工事を実施 ・ らくらくスムーズ会計サービスを導入 ・ 入院時連帯保証人代行制度を開始	16
計	1,479,461 (1,572,254)		

Ⅱ 政策の効率的・効果的な展開の促進



取組みの成果

④ 県立病院の安定的な運営基盤を実現する経営の改善

【令和6年度における評価と見直しの方向性】

<高度医療及び専門医療を担う人材の育成>

(評価)

- ・医師等の学会への参加、認定看護師等の医療従事者の専門資格の取得促進、研究調査等の医師研修の実施により人材の育成を図った。

(見直しの方向性)

- ・職員のスキルアップを図るため、院内外での能力向上研修への参加促進、先進的な病院への派遣研修の実施等を推進する。

<安定した収益の確保>

(評価)

- ・令和6年度診療報酬改定に対応し、ベースアップ評価料等の加算の取得による収益確保に努めた。
- ・診療情報管理士によるコーディングチェック等DPC対応への強化を図ったほか、DPCデータを用いた経営分析ツールを活用し、自病院の経営分析や他病院の状況等を確認することにより、投薬や検査の効率化を図った。

(見直しの方向性)

- ・経営健全化ワーキングチームを設置し、各病院における経営健全化に向けた取組の進捗管理、評価・検証を行う。
- ・引き続き、経営の効率化に向けてDPCデータを用いた経営分析ツールによる分析、勉強会などを実施する。

<医業費用の効率化>

(評価)

- ・中央病院の設備等の劣化状況を踏まえ、設備の利用環境を経営戦略的視点から総合的に管理、活用するファシリティマネジメント計画を策定した。
- ・専門のコンサルタントを活用して、薬品、診療材料等の価格交渉を強化し、調達コストの抑制を図った。

(見直しの方向性)

- ・経営健全化ワーキングチームを設置し、各病院における経営健全化に向けた取組の進捗管理、評価・検証を行う。(再掲)
- ・策定したファシリティマネジメント計画を基に、計画的かつ効果的な資産への投資を実現し、将来の費用の削減を図っていく。
- ・引き続き、専門のコンサルタントを活用した材料費の価格交渉に取組むとともに、物価高騰・労務単価の上昇を踏まえた全体的な経費縮減についても外部の意見を取り入れながら取り組む。

<個人医業未収金対策の強化> (評価) ・入院時連帯保証人代行制度を各県立病院に導入し、患者の負担軽減を図るとともに、入院患者の新たな未収金発生を防止する体制を構築した。 (見直しの方向性) ・入院時連帯保証人代行制度の運用により、簡易かつ確実な未収金回収を行う。 <事務部門の強化> (評価) ・事務部門の専門性を確保するため、新たに病院経営職3名を採用した。 ・新たに2名が病院経営管理士の資格を取得した。 (見直しの方向性) ・引き続き、病院経営職等を計画的に採用していく。また、「山形県病院経営職員人材育成方針」を策定し、職員のスキルアップやリスキリングを推進し、計画的に人材育成に取り組んでいく。 ・引き続き、診療情報管理士、病院経営管理士等の資格取得を推進する。

【令和6年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
医療を支える人材の確保(再掲)	1,288,630 (1,306,567)	・人材確保に向けたPR動画を作成、活用 ・医師事務作業補助者、看護補助者を拡充 ・臨床研修医の確保対策を実施 ・中央病院及び新庄病院院内保育所を運営等	3
高度医療及び専門医療を担う人材の育成(再掲)	380,951 (380,951)	・医師の学会参加、研究調査等を支援 ・認定看護師、専門看護師等を育成 ・医療技術員の専門資格の取得を促進	3
安定した収益の確保	286,016 (286,146)	・中央病院患者サポートセンター及び新庄病院総合患者サポートセンターによる入退院等を支援 ・経営分析ツールを活用	3
医業費用の効率化	91,694 (128,055)	・県立病院ファシリティマネジメント計画を策定 ・県立病院調達マネジメントを強化 ・旧新庄病院の不要什器等を売却	3
個人医業未収金対策の強化	13,357 (25,870)	・弁護士事務所への未収金回収業務を委託 ・らくらくスムーズ会計サービスを導入 ・入院時連帯保証人代行制度を開始	3
事務部門の強化	361,803 (362,204)	・病院経営職員、医療情報職員等のスキルアップやリスキリングのための研修を実施 ・新たに2名が病院経営管理士の資格を取得	3
計	2,422,451 (2,489,793)		